

SUMCO株主通信

第23期 期末

2021.1.1 ▶ 2021.12.31



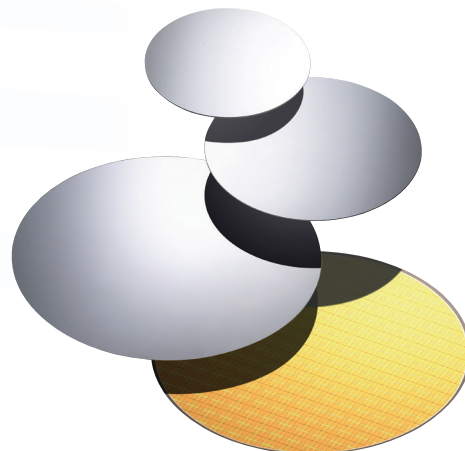
シリコンウェーハはテクノロジーの根源

INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績ハイライト
- 03 特集:300mmグリーンフィールド投資
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

SUMCO ビジョン VISION

- 1 技術で世界一の会社
- 2 景気下降局面でも赤字にならない会社
- 3 従業員が活き活きとした利益マインドの高い会社
- 4 海外市場に強い会社





代表取締役 会長兼CEO
橋本 眞幸

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が鎮静化しない中、当社はお客様、地域社会、全世界の従業員及びその家族の安全を第一に考え、さまざまな思索と実践を日々重ねてまいりました。また、拡大阻止のため、医療従事者や生活必需品の提供や物流に携わる方々をはじめ、世界中で昼夜を問わず多くの方々が懸命の取り組みを続けておられます。これらの皆様のご尽力に敬意を表しますとともに、罹患された方々の早期回復と一日も早い感染の終息を心よりお祈り申し上げます。

当連結会計年度の300mm半導体用シリコンウェーハは、スマートフォンの5G化やテレワークの浸透等により通信量が増大した結果、データセンター向けの投資が活発化し、更に、EVの深耕、自動運転の普及、及び民生・産業向け需要の回復等により、需要に供給が追いつかない状況が継続しました。

200mm以下の小口径ウェーハ市場につきましても、車載・民生・産業向け需要が急回復し、需要に供給が追いつかない状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、AI導入による生産性向上、及びコスト低減により損益改善にも努めてまいりました。

中長期的な市場の成長が見込まれる中、当社グループにおいては、既存建屋内の増産スペースが尽きていることから、300mm半導体用最先端シリコンウェーハの段階的な増産を継続することを可能とするために、国内において新たな建屋、ユーティリティ設備及び製造設備にかかる設備投資を決定いたしました。

あわせて、公募増資を行い、上記シリコンウェーハの段階的な増産に機動的な対応ができる財務基盤を構築しました。

台湾の合併会社であるFORMOSA SUMCO TECHNOLOGY CORPORATIONにおいても300mmグリーンフィールド投資を決定しました。

引き続き需要増が見込まれる最先端品の技術開発推進による製品の差別化とともに、AIの深耕による生産性改善や需要に合わせた継続的な設備増強を進めることにより、顧客要求に添えていく所存です。

また、引き続きコロナ禍や米中貿易摩擦等が当社の事業に与える影響について、注視してまいります。

以上に基づき、2021年12月期の期末配当につきましては、当期における利益水準、将来の見通し、設備投資に係る資金需要及び内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり24円、年間配当は1株当たり41円、連結配当性向は30.2%といたします。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には、平素より当社へのご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます

今期の当社業績は、シリコンウェーハの旺盛な需要に支えられ、売上高3,356億円と前年対比では443億円の増収、営業利益は515億円と前年対比137億円の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は411億円を計上し、当期の営業利益率は15.4%、ROEは10.4%となりました。

今期は、お客様の強い供給要請に応え、継続的な300mm高精度ウェーハの増産が可能な体制を整えるために9月に佐賀県伊万里市及び長崎県大村市の工場に2,287億円、11月に台湾の合併会社に282億新台幣ドルの設備投資を決定いたしました。

財務面では、10月には安定的な資本構造の実現と、グリーンフィールド設備投資資金を調達することを目的に1,200億円規模の公募増資を実施いたしました。

公募増資のエクイティストーリーについては投資家の皆様から高い評価をいただき、2021年度のディール・オブ・ザ・イヤー:ベスト エクイティ ファイナンスを受賞いたしました。

今年度の利益とこの公募増資により、自己資本比率は前年期末より9.2%改善し62.3%、グロスD/E比率も0.18改善した0.30となり、財務体質は大きく強化されました。

今後も、最先端ウェーハの技術開発を推し進め、公募増資の資金を活用して300mm最先端高精度ウェーハの生産体制を着実に強化していくとともに、生産性向上、コストダウンを継続推進し、一層の収益の改善と企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 副会長 CFO 瀧井 道治

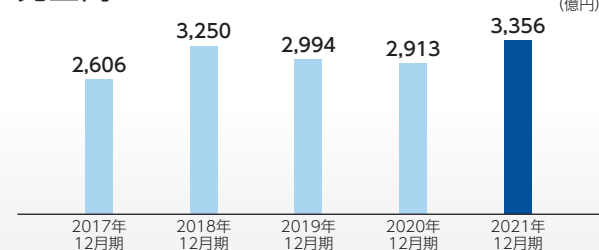


代表取締役 副会長 CFO
瀧井 道治

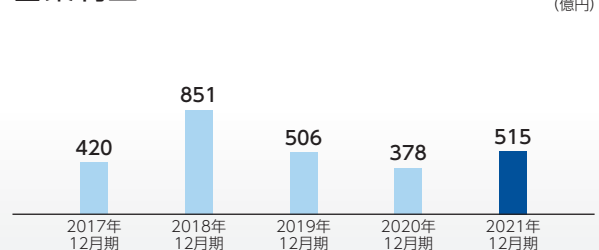
連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

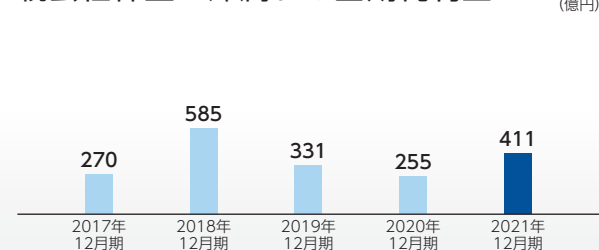
売上高



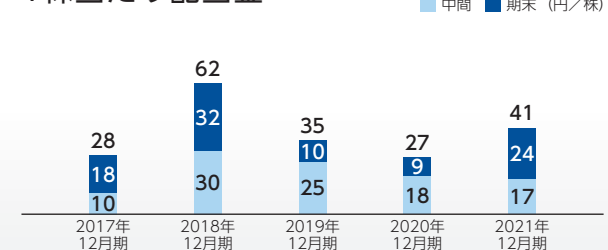
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金



300mm半導体用シリコンウェーハの需給バランス

・300mmシリコンウェーハ需要は、5G、IoTの進展による、データセンター・スマートフォン向けの市場拡大に、車載向けの成長が加わり、需要の増加が継続すると予想しています。

・2021年の世界ウェーハ出荷数量は過去最高を更新し、逐次増産の余地も限られていることから、今後も需給逼迫の状況が継続すると予想しています。

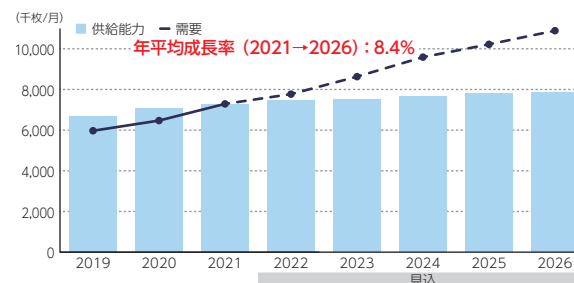
300mmエピタキシャルウェーハ市場

・300mmシリコンウェーハには、メモリー半導体向けに使われるポリッシュウェーハと、主にロジック半導体向けに使われるエピタキシャルウェーハの2種類があります。

・ポリッシュウェーハは、変動が大きいメモリー需要の影響を受ける一方、エピタキシャルウェーハは、ロジック向けの高機能化と用途拡大により、安定成長してきた実績があり、今後も堅調な伸びを予想しています。(図2)

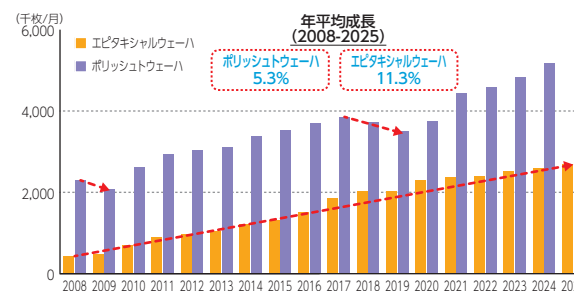
・世界のロジック技術をリードする、ファウンドリー*1のお客様は、急増する最先端ロジックの需要に対応すべく、積極的な設備投資を実行しています。(図3)

*1 TSMCに代表される半導体生産受託会社



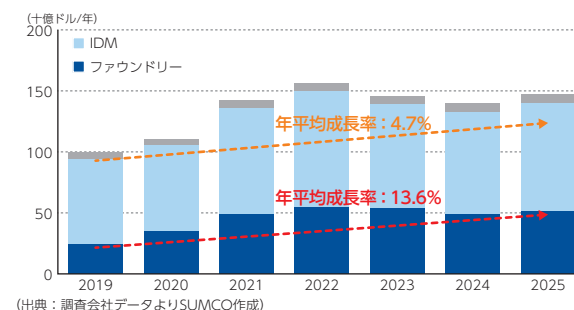
(出典：SUMCO推定)

【図1. 300mm半導体用シリコンウェーハ需要予想と現状の供給能力】



(出典：Omdia, "Semiconductor Silicon Demand Forecast Tool - Update Q3 2021")

【図2. 300mmシリコンウェーハ需要予想】
(ポリッシュウェーハ・エピタキシャルウェーハ別)



(出典：調査会社データよりSUMCO作成)

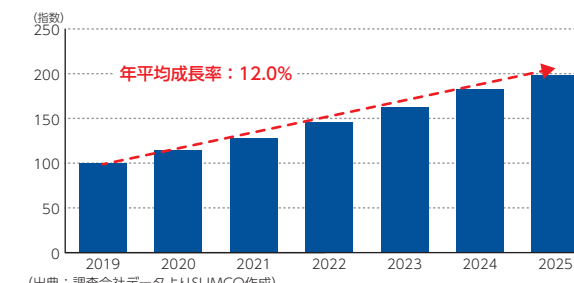
【図3. 半導体企業の設備投資金額】

300mm最先端エピタキシャルウェーハ市場

・ファウンドリーの設備投資の増加に伴い、エピタキシャルウェーハを使用するお客様の生産能力は増加します。(図4)

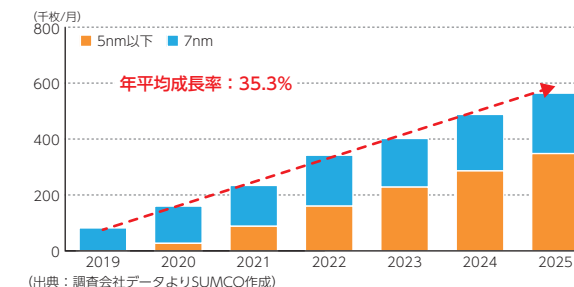
・特にデザインルールが7nm以下の最先端ロジック向けの需要が急拡大すると予想しています。(図5)

・当社は最先端の技術開発力と高品質が評価され、この分野でのトップメーカーであると自負しています。供給責任を果たすべく、既存建屋内の増設スペースが尽きていることから、グリーンフィールド投資を決定しました。



(出典：調査会社データよりSUMCO作成)

【図4. ファウンドリーの生産能力予想】



(出典：調査会社データよりSUMCO作成)

【図5. 300mm最先端エピタキシャルウェーハ需要予想】

グリーンフィールド投資

・300mm最先端シリコンウェーハの強い需要が継続するなか、今後の段階的な増産を可能とするために、新たな建屋、ユーティリティ設備及び製造設備にかかる設備投資を決定しました。(表1)

・今回の設備投資資金については、事業運営に必要な財務健全性を損なうことなく、継続的・機動的な逐次増産をおこなうために、その一部を公募増資で調達いたしました。

〈表1. グリーンフィールド投資の概要〉

【日本】

	投資金額 (億円)	建設開始	生産開始	フル生産
佐賀県伊万里市 (当社)	2,015	22年初	23年後半から段階的に実施	25年2Q
長崎県大村市 (SUMCO TECHXIV)	272			23年末

【台湾合併会社】

雲林県麦寮郷 (FORMOSA SUMCO TECHNOLOGY CORPORATION)	282億新台幣ドル	24年から段階的に生産実施
---	-----------	---------------

【公募増資の概要】

- (1) 新規発行株数：60,000,000株
- (2) 発行価格：2,097円
- (3) 振込金額総額：1,206億円

市場環境と業績見通し

2021年度
(1-12月)
市場環境

2021年度の300mm半導体用シリコンウェーハは、スマートフォンの5G化やテレワークの浸透等により通信量が増大した結果、データセンター向けの投資が活発化し、更に、EVの深耕、自動運転の普及、及び民生・産業向け需要の回復等により、需要に供給が追い付かない状況が継続しました。200mm以下の小口径ウェーハ市場につきましても、車載・民生・産業向け需要が急回復し、需要に供給が追い付かない状況が続きました。

2021年度
(1-12月)
事業成績

上記のような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、AI導入による生産性向上、及びコスト低減により損益改善にも努めてまいりました。この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高3,356億円、営業利益515億円、経常利益511億円、親会社株主に帰属する当期純利益411億円となりました。

今後の見通し
2022年度
(1-3月)

2022年度1Q(1-3月)における半導体用300mmシリコンウェーハ市場は、一段と需要が拡大し、需要に供給が追い付かない状況が継続すると見込んでおります。また、200mm以下ウェーハについても強い需要に支えられ、需給タイトな状況が続くと予想しております。このような市場環境のもと、2022年度1Qの業績見通しについては、下表1. の通り予想しています。

図表1.営業利益増減分析(2020年度→2021年度)

	(単位:億円)		
	2020年度	2021年度	増減
売上高	2,913	3,356	+443
営業利益	378	515	+137
為替 (円/US\$)	106.9	109.6	+2.7

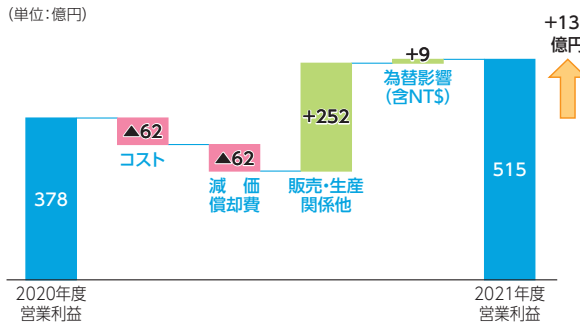


表1. 2022年度1Q(1-3月期)連結業績予想

項 目		2021年度4Q 実績 (10-12月)	2022年度1Q 予想 (1-3月)	増減
売上高	(億円)	912	990	+78
営業利益	(億円)	150	210	+60
経常利益	(億円)	160	200	+40
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	142	130	▲12
1株当たり四半期純利益	(円)	41.7	37.1	▲4.6
為替レート	(円／US\$)	113.2	115.0	+1.8

注) 業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

会社情報

会社概要 (2021年12月末現在)

商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	199,034百万円
従業員数	連結8,469名 単体4,168名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役 (2021年12月末現在)

代表取締役 会長兼CEO	橋 本 眞 幸
代表取締役 副会長	瀧 井 道 治
代表取締役 社長兼COO	降 屋 久
代表取締役 副社長	平 本 一 男
取締役	加 藤 茜 愛 *
取締役 (常勤監査等委員)	井 上 文 夫
取締役 (監査等委員)	田 中 等 *
取締役 (監査等委員)	三 富 正 博 *
取締役 (監査等委員)	太 田 信一郎 *
取締役 (監査等委員)	不 破 章 雄 *

* 社外取締役 (独立役員)

株式情報

株式情報 (2021年12月末現在)

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	350,175,139株
総株主数	89,620名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株主メモ



事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日 配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ (https://www.sumcosi.com/) に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元 (100株) 未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定（当社の主観的判断に基づくものを含みます。）に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
植物油インキを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。